



Creating for the Future

# BUSINESS REPORT 2022

第127期 中間報告書

2022年4月1日 ▶▶ 2022年9月30日

昭和電線ホールディングス株式会社

証券コード 5805

## 株主のみなさまへ



平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに、第127期中間報告書をお届けいたします。

代表取締役社長

# 長谷川 隆代

### 2022年度上半期の業績

当上半期における電線業界では、原材料などの価格高騰に対する販売価格の見直しが進む中、建設・電販向け電線では工事再開などにより需要が回復してまいりました。一方、自動車向け電線では引き続き自動車減産の影響が続くなどの要因により、全体の需要としては前年同四半期並みで推移しました。

このような環境下、上半期の当社グループの業績は、前年同四半期に対して全体の出荷銅量は減少した一方で銅価が上昇したこともあり、売上高は1,022億85百万円(前年同四半期対比8.0%増)、営業利益は43億10百万円(前年同四半期対比14.0%減)、経常利益は43億61百万円(前年同四半期対比14.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は37億14百万円(前年同四半期対比17.1%増)となりました。

セグメント別の業績は下表のとおりです。

		2021年度 上半期累計		2022年度 上半期累計	
エネルギー・ インフラ事業	売上高 営業利益	493 30.3	538 32.4		
電装・コンポー ネツ事業	売上高 営業利益	295 13.8	298 10.5		
通信・産業用 デバイス事業	売上高 営業利益	139 8.8	163 4.6		
その他	売上高 営業利益	19 1.0	21 △0.5		
調整	営業利益	△3.8	△3.9		
合計	売上高 営業利益	947 50.1	1,022 43.1		

(単位:億円、切捨表示)  
各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含めておりません。

### 2022年度通期業績の見通し

当社および当社子会社の昭和電線ケーブルシステム(株)は、将来の退職給付に備えて株式による退職給付信託を共同設定しておりましたが、2022年9月21日付で退職給付信託契約を解約し、信託設定株式の全てにつき返還を受けました。

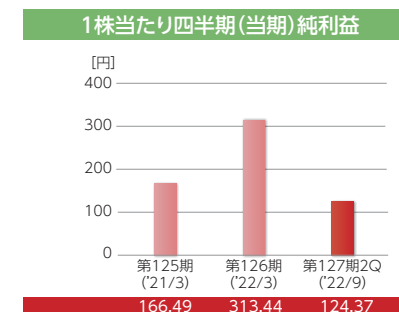
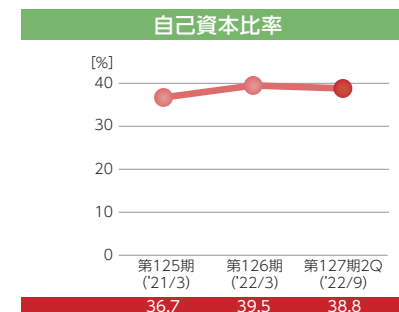
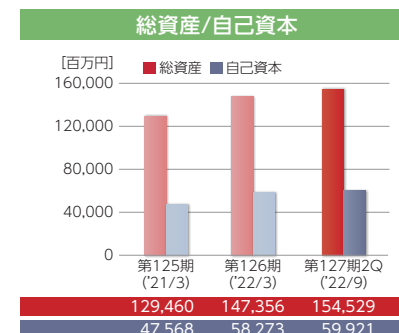
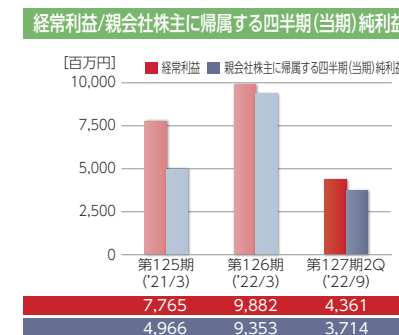
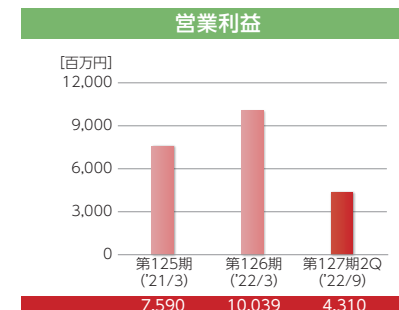
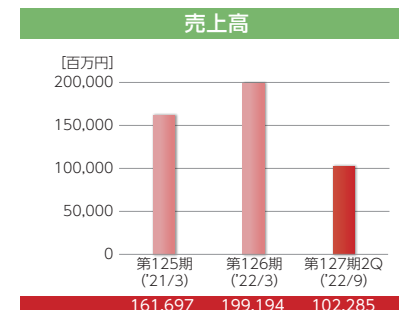
これに伴い、特別利益として26億円を計上することになりましたので、2022年5月12日付「2022年3月期 決算短信(日本基準)(連結)」で公表いたしました前回予想を修正し、売上高2,170億円、営業利益103億円、経常利益103億円、親会社株主に帰属する当期純利益90億円を見込んでおります。

当社グループは中期経営計画「Change & Growth SWCC 2026」の初年度を迎え、さらなる構造改革の実行と成長フェーズへの移行に向けた取り組みを進めてまいります。

前中期経営計画の中で進めてきたROIC経営については、ROICによる管理をさらに各部門の業務レベルまで浸透させるとともに、事業ポートフォリオの最適化のための見直しや事業性評価、投資判断への活用を徹底してまいります。さらに、2023年4月に控えた持株会社から事業会社への移行による新たな経営体制の構築に向けて、その準備を進めてまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 連結財務ハイライト



(※) グラフ中の「2Q」は、第127期「第2四半期連結会計期間末」または「第2四半期連結累計期間」を表しています。

### 「昭和電線グループレポート 統合報告書2022」

昭和電線グループとしての2021年度のさまざまな活動をまとめた「昭和電線グループレポート 統合報告書2022」を発行しました。

今年度の統合報告書では、特集として、TCFD提言への賛同、マテリアリティの特定、SWCC Smart Stream(スマートストリーム)事業、女性活躍推進プロジェクト「SWCCCarat(カラット)」による多様な視点を活かす組織作りなど、グループのサステナビリティ活動について新たに紹介しています。

その他、各事業セグメントの事業活動に対する成長戦略および成長事業の進捗状況、社外取締役座談会での昭和電線グループの経営に対する評価と今後の期待など、ステークホルダーのみなさまに一層ご理解いただけるよう内容の充実を図りました。

右記QRコードよりダウンロードできますので、是非ご覧ください。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェアの登録商標です。





当社は、2023年4月の経営体制の再編を見据え、従来のCSR基本方針に基づく重点項目を見直し、2022年8月に新たな重要課題としてマテリアリティを設定しました。マテリアリティは4つのステップを踏まえ、当社とステークホルダーの双方に影響の大きい社会課題を抽出し、優先課題を特定し、テーマ別に具体的な行動方針、指標・KPIを策定しています。

### 1. 策定プロセス

#### STEP1 社会課題の把握と統合・集約

SDGsなど国際的な社会課題、CSRやサステナビリティに関するさまざまなフレームワークより約300項目の調査を行い、当社グループへの関連性を加味し、40項目の社会課題を抽出しました。

#### STEP2 ステークホルダーの期待の確認

STEP1で抽出した社会課題について、投資家、お取引先(調達先・顧客)、地域、従業員に対して当社への期待についてアンケートを実施し、ステークホルダーの重要度として評価しました。

### 2. 昭和電線グループ5つのマテリアリティ

優先度の高い社会課題を類似分野別に5項目にまとめ、項目ごとにマテリアリティのテーマと行動方針を決定しました。当社グループ5つのマテリアリティ(重要課題)は、「【技術】未来を創る」、「【環境】地球にやさしい」、「【地域】ともに生きる」、「【人】ひとが輝く」、「【ガバナンス】より良き企業に」になります。

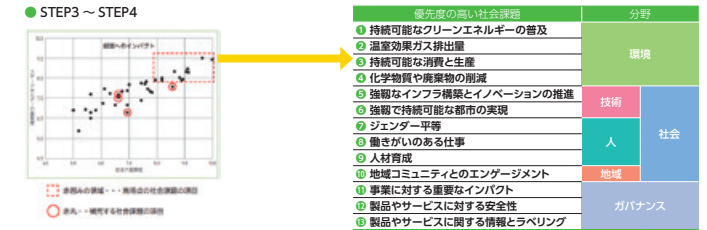


#### STEP3 優先度の高い社会課題の抽出

当社ビジョンや経営計画の内容を踏まえた「当社の重要度」とSTEP2で集約した「ステークホルダーの重要度」を2軸で総合的に評価し、高得点の項目と補完する項目を抽出し優先度の高い13項目の社会課題を決定しました。

#### STEP4 マテリアリティ、行動方針、指標・KPIの策定

優先度の高い社会課題を環境・社会・ガバナンスの類似分野別に5項目にまとめ、テーマ、行動方針、指標・KPIを定め、マテリアリティとしました。



【カテゴリ】テーマ	行動方針	指標・KPI	目標<達成年>
【技術】 未来を創る Our future	優れた技術とイノベーションによる持続可能なクリーンエネルギーの普及	xEV(電動車)関連製品の売上比率	20%以上(2026年度)
	再生可能エネルギーの社内導入率		30%以上(2025年度)
	未来社会に向けた強靱なインフラの構築	SICONEX®製品のCAGR(年平均成長率)	12%(2022~2026年度)
【環境】 地球にやさしい Our earth	たゆまぬ努力と対応による温室効果ガスの削減	温室効果ガス(CO <sub>2</sub> )排出量(Scope1+Scope2)	2013年度比45%減(2025年度)
	グループ総合力であらゆる資源を循環促進	廃棄物の最終処分率	2018年度比50%減(2025年度)
	かぎりある水資源の有効利用	水使用量	2018年度比20%減(2025年度)
【地域】 ともに生きる Our partnership	つながりを大切にし、地域社会とともに発展	非営利団体などへの資金/物資援助・地域貢献活動(ボランティア以外)件数	前年度比5%増(毎年)
	共感、共存、共栄の精神によるバリューチェーンとの協力	サステナビリティ調達ガイドラインアンケートスコア	4.5以上(2026年度)
【人】 ひとが輝く Our people	多様な人材活用の促進(Diversity & Inclusion)	女性管理職(課長職)比率	8%(10%)(2026年度)
	未来への人材育成	従業員1人あたりの年間平均研修時間	2021年度比4倍(2026年度)
	エンゲージメントの向上(働きがいのある仕事・職場づくり)	エンゲージメントスコア	55以上(2026年度)
【ガバナンス】 より良き企業に Our governance	企業経営のモニタリング	休業災害発生率	毎年0.23以下(毎年)
	品質で安全な製品とサービスの提供	独立社外取締役の取締役会および委員会での出席率	75%以上(毎年)
		品質起因による失敗コスト	2021年度比50%減(2026年度)
		顧客満足度	前年度スコア以上(毎年)

# トピックス

## ■サステナビリティ基本方針

当社は、サステナビリティ体制の強化とともに、活動の基本となる「サステナビリティ基本方針」を策定しました。本方針のもと、さまざまな社会課題に対応する企業行動を実践していきます。

### -基本方針

SWCCグループは、信頼とイノベーションにより、「社会課題の解決」と「企業価値向上」を図り、サステナブルで豊かな未来社会をつくります。

### -全体像

- 優れた技術とイノベーションを通じ、お客様へ高い品質の製品・サービスを提供します。
- クリーンでグリーンなエネルギーの普及を図り、地球環境の保全に努めます。
- 「共感」「共存」「共栄」の精神で、地域やバリューチェーンとのつながりを大切にします。
- 個性や多様性を活かした働き方を推し進め、エンゲージメントの向上を図ります。
- 役職員の人間性と倫理観を高め、良き企業文化を醸成します。

## E(環境対策)

### 2050年カーボンニュートラルの実現に向けてCO<sub>2</sub>排出削減目標を見直し

当社は、脱炭素社会の実現に向けて、2025年度および2030年度のCO<sub>2</sub>排出削減目標を見直しました。当社のこれまでの実績を踏まえ、再生可能エネルギーの導入を加速するなど、さまざまな取り組みを通してさらなる削減が見込めることから、2025年度目標は、これまでの25%削減から45%削減に見直し、2030年度目標はこれまでの35%削減から50%削減へと見直しました。

## S(人事施策・社会貢献)

### 社会貢献活動休暇の導入について

当社は、当社および昭和電線ケーブルシステム(株)の正社員を対象に、社会貢献の一環で、従業員が直接的・自発的な活動を支援するための施策として「社会貢献活動休暇」を新たに導入しました。今後、他のグループ会社にも適用を拡大していく予定です。

### 女性活躍推進企業として「えるぼし」認定を取得

当社は女性活躍推進に関する取り組みが優良な企業として「えるぼし」企業(認定段階3)に認定されました。「えるぼし」とは、女性活躍推進法に基づく行動計画の策定と届け出を行った企業のうち、女性活躍推進に関する取り組みが優良な企業について厚生労働大臣が

認定する制度です。当社は、「採用」「継続就業」「労働時間」「管理職比率」「多様なキャリアコース」の5つの評価項目全てで必要基準を満たし、最高位のプラチナえるぼしに次ぐ、3段階目の認定を受けました。



## G(ガバナンス改革)

### 建設・電販市場向け汎用電線の製造事業統合完了

2022年7月1日付で当社および古河電気工業(株)の建設・電販市場向け汎用電線の共同販売会社であるSFCC(株)(エネルギー・インフラ事業に区分)の販売事業に両社グループの製造事業を統合しました。当該事業の製造から販売までを一貫して営む事業会社となったことで、より一層のサービス向上とさらなる収益性向上の両立を図ってまいります。

### 報酬委員会の構成員変更

当社は2022年7月26日付で社外取締役である市川誠一郎氏を報酬委員会の構成員といたしました。当社の報酬委員会の構成員は以下のとおりです。

機関名	役職名	構成員
報酬委員会	独立社外取締役(委員長)	坂倉裕司
	独立社外取締役	戸川清
	独立社外取締役	市川誠一郎
	代表取締役社長 グループCEO	長谷川隆代
	代表取締役 専務執行役員	張東成

## その他

### ESG投資指数[FTSE Blossom Japan Sector Relative Index]の構成銘柄に新規選定

当社は、FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexの構成銘柄に新たに選定されました。

グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellにより構築されたFTSE Blossom Japan Sector Relative Indexは、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。

今後もESGやSDGsを考慮した事業活動ならびに環境活動をより一層推進するとともに、ステークホルダーのみならずから信頼される企業として、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。



# 会社の概況 (2022年9月30日現在)

## 会社概要

設立 1936(昭和11)年5月26日  
 資本金 24,221,681,314円  
 本店 〒210-0024  
 川崎市川崎区日進町1番14号  
 TEL(044)223-0520

## 役員

取締役(監査等委員である取締役を除く。)		監査等委員である取締役	
代表取締役社長(グループCEO)	長谷川隆代	社外取締役	戸川清
代表取締役(専務執行役員)	張東成	社外取締役	坂倉裕司
取締役	胡国強	社外取締役	市川誠一郎
		取締役	戸川隆
<b>執行役員</b>			
グループCEO(代表取締役社長)	長谷川隆代	執行役員	樋口嘉章
専務執行役員(代表取締役)	張東成	執行役員	大竹潔
常務執行役員	山口太	執行役員	菅井幹夫
常務執行役員	小又哲夫	執行役員	今井啓隆
常務執行役員	川瀬幸雄	執行役員	上條俊春
常務執行役員	兒玉喜直	執行役員	井上和彦
常務執行役員	山村隆史	執行役員	瀬間信幸

## グループの主要な事業内容

### エネルギー・インフラ事業

電線、電力ケーブル、電力機器、エンジニアリング、アルミ線、機器電材、免震装置、制振・防振

### 通信・産業用デバイス事業

通信ケーブル、光加工品、機器用電線、ワイヤハーネス、精密デバイス

### 電装・コンポーネツ事業

巻線、裸線、無酸素銅、銅合金線、自動車用電線

### 新規事業(含:その他)

ネットワークソリューション、物流 他



昭和電線グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援する活動に取り組んでいます。

## ■連結対象子会社 (2022年9月30日現在 18社)

- 昭和電線ケーブルシステム株式会社
  - SFCC株式会社
  - 昭和電線ユニマック株式会社
  - 富士電線株式会社
  - 株式会社アクシオ
  - 株式会社SDS
  - 株式会社ロジス・ワークス
  - 青森昭和電線株式会社
  - 昭光機器工業株式会社
  - 株式会社昭和サイエンス
  - 株式会社エステック
  - 香港昭和有限公司
  - 昭和電線電纜(上海)有限公司
  - SWCC SHOWA (VIETNAM) CO., LTD.
  - 嘉興昭和機電有限公司
  - 東莞昭和機電有限公司
  - 福清昭和精密電子有限公司
  - SWCC SHOWA VIETNAM INTERCONNECT PRODUCTS CO., LTD.
- ※上記の青森昭和電線株式会社は、2021年12月31日をもって解散し、現在清算手続き中です。

## ■持分法適用関連会社 (2022年9月30日現在 4社)

- 富通昭和線纜(杭州)有限公司
- 富通昭和線纜(天津)有限公司
- 特変電工昭和(山東)電纜附件有限公司
- 華和工程股份有限公司

# 株式情報 (2022年9月30日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数…………… 70,000,000株  
発行済株式総数…………… 30,826,861株  
株主数…………… 12,674名

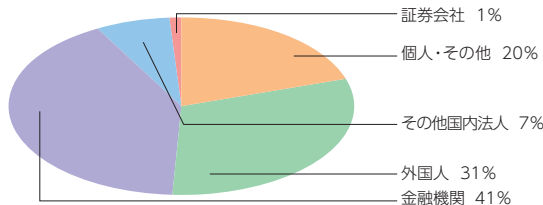
## 大株主(上位10位)

株主名	所有株式数	出資比率
	(千株)	(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,354	21.2
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,342	14.5
NIHK WMD CLIENT OMNIBUS 10 PER TAX	1,500	5.0
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	1,240	4.1
ENEOSホールディングス株式会社	979	3.2
富国生命保険相互会社	772	2.5
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	563	1.8
INTERNATIONAL CORE EQUITY PORTFOLIO DFA INVESTMENT DIMENSIONS GROUP INC	372	1.2
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	349	1.1
BNYMSANV RE BNYMSANVGC RE GCM CLIENT ACCOUNTS (E) SIXI	335	1.1

※上記のほか、当社が所有している自己株式945,493株があります。  
※出資比率は、発行済株式数から自己株式数を控除して計算しております。

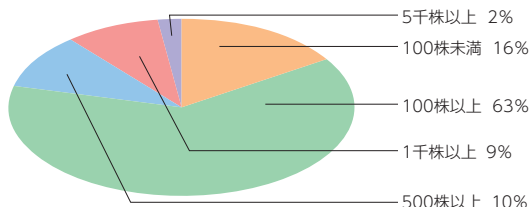
## 株式分布状況

### ●所有者別株式数



合計30,826,861株

### ●所有株数別株主数



合計12,674名

## 株主メモ

**決算期** 毎年3月31日  
**定時株主総会** 毎年6月  
**配当金支払基準日** 毎年3月31日  
なお、中間配当を行うときの基準日は毎年9月30日  
**株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
**郵便物送付先(電話照会先)** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-782-031(フリーダイヤル)  
受付時間9:00~17:00(土日休日を除く)  
**単元株式数** 100株  
**公告方法** 電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
(公告掲載の当社ホームページアドレス)  
<https://www.swcc.co.jp/ir/index.htm>

### 株式に関するお手続き

- 株式に関する各種お手続き(住所変更、単元未満株式の買増・買取請求、配当金受領方法の指定など)は、株主さまが口座を開設されている証券会社にてお取扱いております。詳しくは、お取引証券会社にお問合わせください。
- 株券電子化実施前に証券保管振替制度を利用されていなかった株主さまの株式につきましては、「特別口座」で管理されております。「特別口座」に関する各種お手続き(証券会社の口座への振替、住所変更、単元未満株式の買増・買取請求、配当金受領方法の指定など)は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行にてお取扱いたします。
- 未払配当金の受取りにつきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行にてお取扱いたします。

昭和電線ホールディングス株式会社

〒210-0024  
神奈川県川崎市川崎区日進町1番14号(JMFビル川崎01)  
TEL(044)223-0520 FAX(044)223-0547  
<https://www.swcc.co.jp>

